

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要		
事業開始年度	昭和41年度～	
総合計画	大項目	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	01 生活しやすいまちづくり
	小項目	14 ごみ処理
事務事業名	05 和気北部衛生施設組合負担金事業	
根拠法令・例規等 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 和気北部衛生施設組合規約		
問 担当課(室) 環境課		
合 職・氏名 衛生係長・吉松健二		
先 電 話 64-1821		
このシート作成に要した時間 1.5 時間		

事業の目的	
対 象 (誰・何に対して)	ごみ(一般廃棄物)の処理を必要とする日生地域の市民・市内事業者。 ごみ(一般廃棄物)の収集・処理を必要とする吉永地域の市民・市内事業者。
目 的 (何のために)	市が加入している和気北部衛生施設組合のごみ収集・処理経費、福祉バス運行経費及び和気鶴岡温泉建設による公債費に係る分担金の納付
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	日生地域・吉永地域のごみ処理を効率的かつ適正に行う

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	和気北部衛生施設組合負担金	和気北部衛生施設組合の、ごみ処理施設の運営費、福祉バスの運行経費及び和気鶴岡温泉の建設費の負担金・分担金を納付する。	

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額	直接事業費		79,908	63,340	61,574
	必要人員(人件費)	千円	0.13人	1,266	697
	事業費		81,174	64,037	61,681
	国県支出金				
	受益者負担				
	繰入金	千円			
その他()					
一般財源					
受益者負担比率	%				
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	ごみ処理量(吉永・日生地域分)	説明			
	結果指標量	事業	2,909	2,701	2,685
	対前年比	%	-	92.8%	99.4%
活動コスト					
単位当たりコスト	円		0	0	0

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
	目標値(A)				
	実績値(B)				到達目標値
	達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
成果指標設定の考え方・式や説明					
負担金は経常経費を分担率(利用率)で建設費分担金、整備基金分担金は均等割20%、人口割35%利用率割45%で分担するものであり成果指標を掲げることは難しい。					

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> A
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> C
有効性の評価	目的達成度 市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A-E> C

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	備前市は、和気北部衛生施設組合に加入しており、施設の運営費、建設費の負担金、分担金を納付しなければならない。負担金の一部は前年度のごみ処理量によっても決定されているため、ごみの減量化に努める必要がある。また現在、和気北部衛生施設組合に委託しているごみ処理事業は、備前広域環境施設組合のごみ処理施設(平成26年度稼働予定)へ移行する計画であったが、組合が解散になり、施設の使用期限が26年までであり、今後の動向を注視しなければならない。平成21年度より解体費用等の積立を開始している。					

総合評価	
備前市は、和気北部衛生施設組合に加入しており、施設の運営費、建設費の負担金、分担金を納付しなければならない。負担金の一部は前年度のごみ処理量によっても決定されているため、ごみの減量化に努める必要がある。また現在、和気北部衛生施設組合に委託しているごみ処理事業は、備前広域環境施設組合のごみ処理施設(平成26年度稼働予定)へ移行する計画であったが、組合が解散になり、施設の使用期限が26年までであり、今後の動向を注視しなければならない。平成21年度より解体費用等の積立を開始している。	評価区分 <A-E> B

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	現状を継続しつつ今後の和気北部衛生施設組合の動向を注視する。和気北部衛生施設組合が解散になった場合を想定し日生、吉永のごみ処理の検討を行う。					

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意事項
事業の目的やその数値目標を定めること、成果指標

